

# 平成19年度 事業報告

## 1. 事業の概要

「なら・シルクロード博」の成果を生かし、なら・シルクロード博記念宣言の具体化を図るため、奈良県の中核的な国際交流組織として、「シルクロード学研究センター事業」「国際交流事業」の活動指針を掲げ各種事業を積極的に実施した。

シルクロード学研究センター事業では、平城遷都1300年記念事業協会等の参画を得て、2010年の平城遷都1300年に向けて「世界遺産と文化交流」をテーマにした国際フォーラムを開催した。また、シルクロード交流館の活性化事業や研究紀要等の発行、さらには「シルクロード・奈良国際シンポジウム2007」の開催など、奈良がシルクロードの歴史と文化の研究拠点であることを内外にアピールするための諸事業を展開した。しかしながら、15年にわたる研究成果の蓄積により初期の目的が概ね達成出来たことに伴い、平成20年3月末日をもってシルクロード学研究センターを廃止した。

国際交流事業では、多文化共生社会を推進するため、在住外国人支援活動及び国際交流活動を行うボランティアの登録を実施するとともに、在住外国人と地域住民が交流する場を提供した。また、本県の魅力や日本人の生活などの情報をインターネットを通じて海外へ紹介した。さらには、在住外国人の生活支援を行うため、日々の生活に密着した相談業務を行うとともに、携帯電話を利用し身近で役立つ生活情報等を提供するサービスを開始した。また、県民と留学生との交流活動を推進し、奈良で充実した留学生活を送れるよう支援事業を行った。

## 2. 事業の実施内容

### 1. <奈良>をシルクロードの文化・歴史の研究拠点に

#### ～ シルクロード学研究センター事業 ～

### 自主研究事業

#### (1) 研究事業

シルクロードに関する学際的な研究課題を選んで、広く外部研究者とのネットワークのもと、シルクロード学の確立に資する研究を行った。

##### ①イラン学術共同研究（財団法人三菱財団人文科学研究助成金による支援）

平成17年度に橿原考古学研究所と共同実施したイラン学術共同研究の成果を踏まえ、19年8月から9月の間において、イラン国内（ホラサーン州北部）での仏教文化の伝播の可能性について、イラン考古調査センター（ICAR）の協力を得て現地調査を行った。

○研究テーマ 「古代イランにおける仏教文化の伝播の研究」

##### ②課題研究

シルクロードに関する学術的研究テーマについて、少人数の研究チームにより研究を行った。

- 研究テーマ ・中国出土のソグド系文物の考古学的・美術史的研究  
(平成18年度～19年度)
- ・遺跡出土イスラーム陶器の地域内流通調査とデータベース作成  
(平成19年度)

### ③研究紀要の発行

課題研究の研究成果の発表の場として研究紀要を発行した。

- 発行冊数 2冊 ○発行部数 各700冊
- ・第29号「中国初期青銅器文化の研究」
- ・第30号「インド洋海域世界における港市の研究－インド・カッチ地方を中心として－」

## (2) シルクロード学研究センター企画運営事業

シルクロード学研究センターの運営及び研究センターの企画運営委員・研究評議員との研究ネットワーク形成のための事業を行った。

## 文化創造事業

### (3) 奈良公園シルクロード交流館管理運営事業

#### ①奈良公園シルクロード交流館管理運営事業

奈良公園シルクロード交流館の展示展開、受付案内や入場料の徴収等管理運営を行った。8月の「なら燈花会」期間中は、交流館の開館時間を夜間まで延長し、当該イベントを盛り上げるとともに、入館者増に努めた。

- 入館者数 12,056人

#### ②奈良公園シルクロード交流館活性化事業

入場者増を図るため、交流館の活性化に資する事業を行った。

- 展示遺物の解説文の設置やレイアウトの変更等による快適な展示環境の整備
- インターネットによるシルクロード交流館の施設案内や情報発信並びに各種講演会等でのシルクロード交流館の広報
- 正倉院展開催時期に合わせた「正倉院宝物と東西交流」や「奈良の世界遺産パネル展」等の企画展示の実施
- 入館者ニーズを把握するためのアンケートの実施

### (4) 国際フォーラム「世界遺産と文化交流」開催事業

平城遷都1300年に向けて「世界遺産と文化交流」をテーマに国際フォーラムを開催した。

- 主催 奈良県、(財)なら・シルクロード博記念国際交流財団  
日本経済新聞社、平城遷都1300年記念事業協会
- 開催日 平成19年10月6日(土)
- 開催場所 奈良県新公会堂
- 参加者 約400名

## 国際研究交流事業

### (5) シルクロード・奈良国際シンポジウム2007開催事業

シルクロード学研究センターの国際研究交流活動の一環として、奈良がシルクロードの歴史と文化の研究拠点であることを内外にアピールする国際シンポジウムを開催（隔年開催）した。

- テーマ 「インド世界への憧れー仏教文化の原郷を求めてー」
- 主催 奈良県、（財）なら・シルクロード博記念国際交流財団/シルクロード学研究センター  
朝日新聞社、（社）日本ユネスコ協会連盟
- 後援 外務省、文部科学省、インド大使館ほか
- 開催日 専門セミナー 平成19年12月7日（金）、8日（土）：奈良県新公会堂  
及び場所 公開セミナー 平成19年12月9日（日）：奈良県文化会館  
平成19年12月16日（日）：有楽町朝日ホール（東京）
- 参加者 延べ約1,750名

### (6) 「なら・シルクロード友の会」への支援

平成16年に設立された「なら・シルクロード友の会」が実施した事業に対して支援を行った。

#### ○平成19年度実施の主な事業

- ・シルクロード講座（夏期集中講座、大和の社寺とシルクロード講座 2回）
- ・講演会（4月、2月）
- ・正倉院展見どころ講座
- ・東京講演会（6月、10月）の開催
- ・奈良、京都をあるく
- ・関西近郊バスツアー
- ・シルクロードツアー（ウズベキスタン）
- ・シルクロード写真コンクール
- ・会報誌 年2回発行

## 2. 世界に開かれた<奈良>をめざして

### ～ 国際交流事業 ～

#### 国際交流人づくり事業

##### (1) 国際交流ボランティア人材バンク整備事業

県民参加のもとで多文化共生社会を推進するため、国際交流活動ボランティアとして様々な側面から在住外国人を支援できる人材を「NIFSボランティア」として登録し、オリエンテーションを経てボランティア活動を行ってもらった。

○登録者数 248名（平成20年3月31日現在）

【分野別登録者数】（複数分野登録あり）

- |              |      |
|--------------|------|
| ①通訳・翻訳       | 63名  |
| ②外国文化紹介      | 39名  |
| ③日本文化紹介      | 40名  |
| ④ホストファミリー    | 127名 |
| ⑤留学生里親       | 69名  |
| ⑥NIFS事業サポーター | 53名  |

○登録期間 登録日から平成22年3月末まで

○新規登録者オリエンテーション

- |                      |         |
|----------------------|---------|
| 平成19年12月1日（土）奈良国際研修館 | 参加者：39名 |
| 平成20年1月26日（土）奈良国際研修館 | 参加者：29名 |

##### (2) 国際交流団体等ネットワーク推進事業

地域の国際化の担い手となっている民間国際活動団体の育成及び活動支援を行うとともに、これらの団体との連携・ネットワーク化を図り、地域レベルでの国際交流・協力活動を推進した。

###### ①国際交流・協力団体ネットワーク会議の開催

地域の国際化の担い手であるNPO・NGO活動の一層の活性化を促進するため、相互の連携・協力体制を整備する会議を開催した。

- 開催日 平成19年 5月30日（水）、10月 5日（金）
- 開催場所 奈良国際研修館、猿沢荘
- 参加者 延べ27団体 37名

###### ②NIFS国際交流助成事業

民間団体が取り組む草の根的国際交流・国際理解などの事業に対して側面より支援するため助成を行った。

○助成件数 4件

###### ③催事紹介情報紙「かぜのおと」の発行及びホームページ掲載

財団の事業案内や県内国際交流団体等が実施する国際交流・国際理解に関するイベント情報を県民に紹介する情報紙を発行するとともに、ホームページにも掲載した。

○発行時期：年3回（5月、7月、9月）

○発行部数：各号3,000部

（11月以降は、ホームページに「イベントカレンダー」として掲載）

④「奈良県の国際活動団体名簿」の改訂（ホームページ掲載）

県内において国際交流や国際協力を目的とした活動をしている団体を県民に紹介するため、名簿の改訂版をインターネットで公開した。

○掲載団体 87団体

(3) 国際交流コーディネーター設置事業

地域社会の国際化に向けて熱意とボランティア精神を有し、国際的経験等による語学の堪能な県民を「国際交流コーディネーター」として委嘱し、国際理解推進に向けての各種事業に民間的発想をもって参画してもらった。

○人員 国際交流コーディネーター 2名

○勤務条件 週5日

○業務内容

- ・県民の国際理解と地域の国際化を進めるための事業の企画及び実施
- ・在住外国人の支援のための日常生活相談と生活情報等の提供
- ・県内国際交流団体のネットワークを進める事業の企画及び実施

(4) 奈良国際研修館管理運営事業【受託事業】

地域社会の国際化に資するため、県が設置した奈良国際研修館の管理運営業務を受託し、活性化を図った。

○研修館の設置目的：県民の国際理解の増進図り、豊かな国際性と国際感覚を身につけた人材を育成するとともに、外国人が伝統文化等を学ぶことを通して日本文化の理解を深め、併せて外国人と県民が交流できる場を提供する。

○開館時間 9時～21時（土・日・祝日は17時まで 月曜休館）

## 国際交流基盤の充実

(5) N I F S ラウンジ運営事業

在住外国人と県民のコミュニケーションの場として、また在住外国人が抱える悩みや問題に対する生活相談や様々な情報提供の場として、N I F S ラウンジを設置し、その充実を図った。

○図書、各種新聞（外国語含）等の配架

○インターネットパソコンの設置

○年間利用者数 2,114人（1日平均8人）

(6) インターネットによる海外情報発信事業

奈良県の魅力やイベントの情報、日本人の日常生活など海外では手に入れにくい情報を、多言語でインターネット発信することにより、日本人の心情や考え方を理解してもらうとともに、奈良県を広く世界にアピールした。

- 発行形態 財団ホームページのサイトとして掲載
- 発行 年3回（8月、12月、3月）
- 使用言語 英語、中国語、フランス語、ハンデル、ポルトガル語、日本語（6ヶ国語）

(7) 多文化交流サロン開催事業

在住外国人が、相互に助け合うためのネットワークを構築する機会を提供するとともに、多文化共生意識を高めるため、様々な文化体験を通して、地域住民と交流する機会を創出した。

①NIFS子育て支援サロン

- 平成19年11月11日（日） 奈良県解放センター  
内 容：「せかいを『こっき』でつなげよう」  
参加者：65名
- 平成20年 1月12日（土） 大和郡山市立郡山南中学校  
内 容：「世界の絵本で遊ぼう！」  
参加者：約100名
- 平成20年 3月 2日（日） 奈良市男女共同参画センターあすなら  
内 容：「多国籍お弁当作りに挑戦！」  
参加者：40名

②NIFS多文化交流サロン

- 平成20年 2月23日（土） 猿沢荘  
内 容：ブラジル、ガーナ、メキシコの文化紹介  
参加者：65名

**外国人が暮らしやすい環境づくりの推進**

(8) 在住外国人向け暮らしの情報サイト整備事業

県内在住外国人にとって身近で役立つ生活情報等を携帯電話を利用した多言語による情報サイトを開設し、「NIFS携帯情報サービス」として発信を開始した。

- 使用言語 英語・中国語・ポルトガル語・やさしいにほんご・日本語
- 多言語携帯サイト（平成19年10月掲載開始）  
内容：外国人住民向け生活情報（施設・窓口情報、生活ガイド等）、NIFSの案内
- 多言語メール配信（平成19年12月配信開始）  
配信：定期的に月2回配信、不定期にイベント情報・レシピ等も配信  
内容：季節の生活情報、日本文化豆知識、日本のマナー等

(9) 国際交流ふれあい事業

県民と外国人との相互理解を図り、地域における国際交流を推進するため、登録ホストファミリーに、ホームステイ・ホームビジットを斡旋した。

- ホストファミリー登録期間  
・従来の登録期間（平成19年10月まで）：平成14年11月1日～平成19年10月31日

・平成19年11月以降は、新たに創設した「NIFSボランティア」の「ホストファミリー」に登録：平成19年11月1日～平成22年3月末日

○ホストファミリー登録家庭数 127家庭（平成20年3月31日現在）

○平成19年度ホームステイ斡旋数 24ヶ国 105人

#### (10) 在住外国人暮らしのサポート事業

在住外国人の自立を促進しながら、言葉や生活習慣の異なる奈良・日本での生活をスムーズにしかも快適に過ごすことができるよう彼らが抱える悩みや問題の共有化を図るとともに、多言語での生活全般にわたる幅広い情報提供を行った。

##### ①外国人生活相談窓口の設置

外国人が奈良で暮らす際の様々な悩みや問題に対する各種相談や情報提供

○対応言語 英語、ポルトガル語、中国語、日本語

○相談件数 242件

○相談内容 外国人：育児・教育、出入国・在留、医療・保険、通訳・翻訳、仕事等  
日本人：国際ボランティア、語学留学、財団事業等

##### ②在住外国人向け生活情報提供

○生活情報 「HELLO NARA」の整備

○発信形態 財団ホームページに掲載

○使用言語 英語、中国語、ハングル、スペイン語、ポルトガル語、日本語

##### ③外国人のための出前相談会の実施

「NIFS出前相談会」を総務省奈良行政評価事務所と連携して開催。

○平成19年10月17日（水） イトーヨーカドー奈良店 相談者：7名

○平成19年10月23日（火） リーベル王寺東館 相談者：3名

#### (11) 留学生総合サポート事業

国際交流に関心のある県内大学等に留学する外国人留学生と、留学生の奈良における家族となる「里親」との交流を通じて共に学ぶ機会を設け、奈良での留学生在活がより充実したものとなるよう支援するとともに、県民の多文化共生意識の醸成を図った。

県内大学等外国人留学生登録者数 56名

里親マッチング家庭 56家庭

##### ○留学生と里親の出会いパーティー

平成19年7月1日（日） 猿沢荘 参加者：113名

##### ○文化体験イベント

・赤膚焼手造り体験 平成19年 7月22日（日） 参加者：20名

・吉城園お茶会 平成19年10月27日（日） 参加者：28名

・和太鼓体験 平成20年 2月 3日（日） 参加者：17名

##### ○スタディ・ツアーイベント

・「宇陀松山」まちなみスタディ・ツアー&バーベキュー

平成19年 9月29日（土） 参加者：50名

